

# 平成26年度 鳥取県西部沿岸土砂管理連絡調整会議 議事概要

日 時：平成26年10月29日（水）午後2時から4時

場 所：西部総合事務所新館2階第17会議室

## 1 議事

### (1) 目安とする浜幅について

- ・効果的・効率的なサンドリサイクル実施のため、評価基準「目安とする浜幅」を検討。
- ・海岸法の理念である、「防護」、「利用」、「環境」の観点から評価。

「防護」… 越波しない浜幅をシミュレーション検討し、25mと設定。  
「利用」… 「ビーチ計画・設計マニュアル（国土交通省港湾局）」より、40mと設定。  
「環境」… 定量的な評価が困難なため、現状環境を維持保全しながら工事実施することを働きかける。

#### <会議での主な意見>

意見) 皆生海岸では利用者懇談会があるが、浜幅について利用者からの意見はあるか。

回答) 浜幅というより、利用できる面積を維持して欲しいとの意見がある。

### (2) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

- ・サンドリサイクル実施状況、評価分析、今後の方針を各海岸ごとに説明。

[検討対象海岸：境港工区、富益工区、夜見工区、両三柳工区、皆生工区]

#### <会議での主な意見>

意見) 富益工区のサンドリサイクルは減少しているか。

回答) 人工リーフとサンドリサイクルを並行して進めており、効果が出ていると考えている。

意見) 皆生漁港の西防波堤の効果はどうか。

回答) 台風19号により一晩で砂が付き、改めて自然相手の難しさを実感した。

### (3) 今後の取組（各施設管理者との意見交換）

#### ■ 日野川水系総合土砂管理計画について（日野川河川事務所）

- ・平成26年度完成を目標に計画策定をしているところ。
- ・自然の営力を生かした砂州堆積土砂を海岸に供給するなど、試行的な取組みを実施。

#### ■ 海岸保全事業の進捗状況について（日野川河川事務所）

- ・平成26年度の海岸保全事業の進捗状況等を説明。

#### ■ 境港公共マリーナの土砂堆積対策について（境港管理組合）

- ・例年の漂砂により公共マリーナの航路が埋没。航路維持のため年間6,000m<sup>3</sup>の浚渫を実施。
- ・JOCセーリング強化拠点として、抜本的な航路埋没対策を検討中。

## 2 その他

#### ■ 簡易な移動装置によるサンドバイパス試験工事の取り組みについて（事務局）

- ・低コスト化・地球環境保全に配慮し、鳥取県の地域特性に適合した新たなサンドリサイクルやサンドバイパスの手法の開発・導入を目的としている。
- ・26年度、酒津漁港にて試験工事を実施。
- ・実用化を目指し検討委員会を開催。（平成26年10月、平成27年3月実施）

現対応状況 ⇒ 港湾漁港への活用に向けPR（市長村等）。実用化に向け28年度予算調整中